

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表：令和3年1月14日

事業所名 児童発達支援センター ココカラりんく 保護者等数（児童数） 25 回収数 21 割合 84%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	0	0	0	活動によって部屋の広さを調整している。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2	0	2	誰かどの専門職なのかわからない。 怪我や物の忘れが気になる。	スタッフ紹介の欄に資格等を掲示し、誰がどの専門職か明確化するよう改善に努めます。 怪我や物の忘れがないように業務改善を行い、園児に目が届くよう改善に努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21	0	0	0	部屋に名前がついていてわかりやすい。 バリアフリーになってコケにくい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	0	0	1	足の裏が黒い時がある。 いつ行っても施設内がきれいに保たれている。	施設内は毎朝高濃度接触部位の消毒、営業終了後に施設内全体（床、壁、トイレなど）の消毒を行っています。 今後も掃除を徹底するよう努めます。
適切な支援	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	21	0	0	0	話し合いをしたうえで要望に沿って計画を作成してくれています。家での様子と支援中の様子をすり合わせて、発達にあったものが作成されている。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	0	0	0	長期的、短氣的に目標が設定され、目標ごとに具体的な内容が設定されている。	